

## ドイツ銀行はコメルツ銀行と合併協議開始 – シナジー効果から格付上ポジティブながら、今後の協議進展と内容に注目

以下は、ドイツ銀行（証券コード：一）とコメルツ銀行との合併協議開始についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 3月17日、ドイツ銀行とコメルツ銀行は合併の可能性について協議を開始することに合意した。ドイツ銀行によれば、合併の実現はいまだ確実ではないものの、この機会をとらえて、今後の成長や収益性の改善に向けた戦略的な見直しを行う決定を下したとしている。合併の詳細は今後の協議を通じて詰める予定である。
- (2) JCRでは合併が実現すれば、資産規模で1.8兆ユーロを超える欧州最大規模の銀行となり、営業基盤、経費、資金調達などシナジー効果が期待される。しかし、合併の詳細、当局からの承認、組合との合意など不確定要素が多く、現状では格付への反映は難しい。また、コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング部門を中心としたドイツ銀行の低い収益力には引き続き下方圧力がかかっている状況である。今後の合併協議の進展や詳細を踏まえて、格付に反映させていく。

(担当) 増田 篤・内藤 寿彦

### 【参考】

発行体：ドイツ銀行（Deutsche Bank AG）

外貨建長期発行体格付：Ap 見通し：ネガティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル